

# 12月9日龍神温泉木の郷マラソン

## 26日まで参加者を募集中

第31回龍神温泉木の郷マラソン(同実行委員会主催)は12月9日(日)田辺市龍神村龍神の宿泊施設「季楽里龍神」を母体として、父の部と母の部をミックスしたマラソン大会を開催する。参加者は、全種目3位まで表彰する。参加者を募集中。



コースは3、5、10、15、20、25、30、35、40、45、50、55、60、65、70、75、80、85、90、95、100km。参加費は1種目4,000円(昼食代と保険料含む)。小学生以上は2,000円。小学生以下は1,000円。当日は7時からスタートは10時。受付は8時。申し込み・問い合わせは事務局 ☎0739-782222。

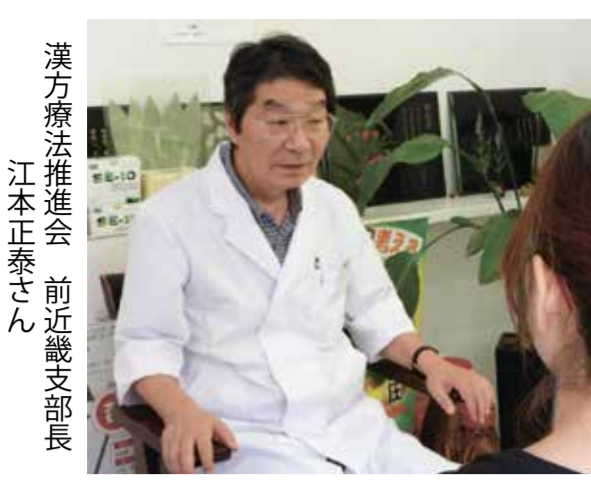
### 漢方のおはなし

#### 「子どものアトピー」漢方のことなら江本薬局へ

問 孫(6歳)女の子のアトピーがひどく困っています。学校など外出先でイヤなことがある。腕や首、顔が真っ赤

と、帰宅後にかゆみのとどめを打つ程度で済みます。夜中、かゆみに耐えられずイライラして、起きることが多くなっています。漢方薬で少しは良くなるでしょうか?

答 アトピー性皮膚炎はアレルギー疾患の一種で、アトピー性皮膚炎の原因は不明ですが、アレルギー反応が関係していると考えられています。漢方薬は、アレルギー反応を抑える働きがあり、皮膚の炎症を軽減させる効果があります。漢方薬は、副作用が少なく、体に優しい薬です。漢方薬は、アレルギー反応を抑える働きがあり、皮膚の炎症を軽減させる効果があります。漢方薬は、副作用が少なく、体に優しい薬です。



漢方療法推進会 近畿支部長 江本正泰さん

漢方薬は、アレルギー反応を抑える働きがあり、皮膚の炎症を軽減させる効果があります。漢方薬は、副作用が少なく、体に優しい薬です。漢方薬は、アレルギー反応を抑える働きがあり、皮膚の炎症を軽減させる効果があります。漢方薬は、副作用が少なく、体に優しい薬です。

お陰さまで20周年 全国どこでもご結婚のお世話をさせていただきます。お見合 西登代子

漢方薬は、アレルギー反応を抑える働きがあり、皮膚の炎症を軽減させる効果があります。漢方薬は、副作用が少なく、体に優しい薬です。漢方薬は、アレルギー反応を抑える働きがあり、皮膚の炎症を軽減させる効果があります。漢方薬は、副作用が少なく、体に優しい薬です。

平均寿命最高を更新 男性81.09歳、女性87.26歳

出生数最少の94万6060人

和歌山男性44位、女性41位 都道府県別平均寿命の順位

仕送り年間86万円

犬のしつけ教室 有田川町きびドーム

お陰さまで20周年 全国どこでもご結婚のお世話をさせていただきます。

調査は2017年9月10日にインターネットで実施。高校生以上の子どもを持つ25〜64歳の対象者が有効回答は600人。県内は100人だった。和歌山県は自宅外通学者の割合が近畿で最も高い。自宅外通学者への仕送り額は月額で7万1000円。大学4年間での約34.5万円になる。自宅外通学者を始めるためのアパートの敷金や家財道具購入費用は平均32万円。入学費を合わせると平均111万9000円となっている。

観光庁は今年上半期(1〜6月)に日本を訪れた外国人旅行者が推計で、前年同期に比べて15.6%増の1589万人に上ったと発表した。上半期としては過去最多で年間3000万人を上回るペースを維持している。

## 玉木ひさとの県政報告(6) 和歌山県議会議員 玉木久登

(1) 台風20号、21号による被害と支援(要望) 台風21号が通過した翌日、有田市内各地を回り、高潮による浸水被害、箕島漁港の状況と完全復旧までには2か月を要するという見通し、丹精込めて育て上げてきたみかんの成木が根こそぎ倒れた状況、ビニールハウスの倒壊、今後の塩害拡大の懸念、風によるこれだけの被害は最近では経験がないというお話など、現地で見聞したことを説明しました。そして、こうした被害は、有田市のみならず県内各地域の基幹産業にとっての大きな痛手であり、「将来に向けて希望の持てる最大限の支援策」を、県としてまた国に対して要望することを述べました。



(2) 東京オリンピック・パラリンピックの食材調達 この大会では、食材の調達にGAPと呼ばれる基準が導入されています。そこで、大会における県産品アピールに関する取組状況と、GAPに対する今後の対応について質問しました。

(4) 県管理河川の河川整備計画の進捗状況等 相次ぐ台風被害、ダムの運用管理も大きな話題となりました。質問は次の3点です。



(3) 農業の担い手の育成・確保 少子高齢化や人口流出が進む中、本県の基幹産業である農業を支える人材の育成や確保の重要性は言うまでもありません。そのため、昨年の9月定例会でも取り上げた課題ですが、今回は、少し視点を変えて、数値目標や社会的な状況の変化に対して具体的にどう対応しているか、こうした2点を質問しました。

① 河川整備計画について現在の取組状況と今後の取組について(答弁省略)

② 頻発する豪雨災害に対し整備計画の見直しなどへの考え方について ⇒基本的に次期計画を作成する段階で検討するなどしているが、現在の計画に位置付けられた整備の進捗状況や近年の出水状況等も考慮し、必要に応じて検討する。

③ 豪雨時などの場合の県管理ダムの運用状況について ⇒平成23年の紀伊半島大水害での経験を契機に、豪雨時には、発電用として貯めている水の事前放流は行っている。しかし、事前放流をしたとしても、豪雨が長引き、ダムが満水になった場合は、流入量とほぼ同量の水を放流せざるをえない。この場合、事前通知や警報活動を特に徹底して行っているが、今後も、ダムの適切な運用と分かりやすい情報発信に努める。

清風自來 -5- ~自然の脅威~ 8月、9月と相次いで和歌山県に甚大な被害をもたらした台風20号、21号。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに早期復旧に向け、ご尽力頂いた皆様に深く感謝申し上げます。

わが有田地方も強風による家屋などの損壊はもとより、長期化した停電、基幹産業である農業漁業施設への被害は甚大で、なかでも収穫前の果樹の倒木など「近年では経験のない大きな損失」と皆さん口を揃えます。一次産業従事者の高齢化や担い手不足・後継者問題など、一次産業を取り巻く環境が大変厳しい中でのこの損失は、これからの「やる気」に大きな影を落としかねない事態と強く感じました。丹精込めて作りあげたものが一瞬にして奪われてしまう辛さは心中察するに余りありません。私のできることは、皆さんのその「想い」にしっかりと応えることが責務であります。皆さんが「よしやるぞ」と感じて頂けるよう、より良い支援策に取り組んでまいります。また改めて自然災害の猛威とどのように向き合うか、あらゆる角度から検証し、防災・減災対策に誠心誠意取り組んでまいります。この故郷を愛する者の一人として皆様とともに頑張つてまいりますので、今後ともご指導・ご鞭撻宜しくお願い申し上げます。 玉木久登